

## 第1回 “夢ブック” 読書感想文コンクール入賞作品

(感想文は、原文のまま掲載しています)

**【最優秀賞】** 大東小学校 田並 祐花 (たなみ ゆうか) さん

「おこだでませんように」をよんで

たなみ ゆうか

わたしは、このおとこのこが、どんなおこられかたをして、すごしているか、きになって、このほんをえらびました。

なぜかという、わたしも、いえで、おこられることがあるからです。

サッカーのところで、ぼくだけせんせいにおこられて、かわいそうだとおもいました。いえでも、おこられて、かわいそうだとおもいました。

おかあさんに、「ええこやねえ」といわれたいとおねがいしたくなるきもちも、わたしもわかります。

たなばたで、ぼくのねがいごとが、さっそくかなって、とてもうれしそうで、よかったとおもいました。

わたしも、ほめられたり、ぎゅってだっこされたりすると、うれしいです。

【優秀賞】 日方小学校 土岐 光稀（とき みつき）さん

ねずみのひっこし

とき みつき

ぼくはさいしょねずみがかわいそうでした。ねずみのすむいえのとなりにねこがひっこししてきたため、こわがったねずみがひっこしすることになったからです。

せっかくみつけたすみかもいごこちのいいばしょでなかったため、とうとうねずみたちがいえをつくることになりました。ぼくもてつだってあげたかったです。ねずみだけでは力をあわせても、おもいものもぼくがてつだってあげればねずみももっと早くいえをつくれたのに。

ねずみはせんたくもののひもにからまっているねこを見つけ、こわがっていたにもかかわらずゆうきをだしたすけてあげたのです。

ぼくはねずみをみたことはありません。でも、こんなにすてきなねずみがいるなら、ぼくはともだちになりたいです。

【優秀賞】 中野上小学校 山本 桃子（やまもと ももこ）さん

「ひっこしだいさくせん」をよんで

やまもと ももこ

わたしは、このえほんをよんで、わくわくしました。そして、ひとたちがすてたごみをつかって、ねずみたちがくらしやすいいえをたてたので、すごいとおもいました。わたしがねずみだったら、すんでみたいとおもいました。たとえば、びーだまをつかって、きらきらしたおへやをつくったり、てまわしおるごおるで、はつめいかのようなべっどをつくったり、みんなくふうをしたからです。ごひきみんなでちからをあわせていえをつくったことがかっこよかったです。さいごに、ねずみたちにたすけてもらったねこが、ねずみたちのいえのみはりについたのもおもしろかったです。おれいをしてるんだとおもうよ。きっと、ねずみたちは、さいしょのひは、たててよかったなどおもって、つぎのひは、くらしやすいなとおもって、これからは、わくわくするくらしがまっているとおもいます。

**【奨励賞】**

黒江小学校 田中 メイゼ (たなか めいぜ) さん

「にじいろのさかな」

たなか めいぜ

にじいろのさかなは、ぎんのうろこをだれにも、あげたくないと、さいしょは、おもっていたけど、さいごは、たくさんうろこを、あげてとうとうあと1まいだけになってもにじいろのさかなは、ちっともおこらなくなり、にじいろのさかなは、しあわせに、なるというおはなしです。わたしは、にじいろのさかなが、えらいと、おもいました。りゅうは、あげたくなくてもあげて、しあわせに、なったからです。でも、わたしは、1かいあげたくなかったらもうあげないように、なります。

だからにじいろのさかなは、かしこいと、おもいました。わたしがすきな、ところは、にじいろのさかなが、わたしたくなかったぎんのうろこを、1まいになるほど、うろこをたくさんあげるところです。どれだけ、きれいなうろこを、もってても、ともだちも、いないし、だれもすきになってくれないんだったらうろこを、あげるほうがいいと、きづいて、うろこを、ちがうさかなにも、うろこをたくさんあげるのが、えらいと、おもいました。あげたくないのを、がまんして、がんばって、うろこをたくさんあげてしあわせになってともだちもふえて、うれしいんだろうなど、おもいました。わたしも、もっとともだちが、ふえたらいいなど、おもいました。にじいろのさかなみたいな、ふくを、つくれるかなと、おもいました。にじいろのさかなは、おばあさんの、たこのおかげで、ともだちもふえたり、うろこを、たくさんあげて、しあわせに、なったんだなど、おもいました。にじいろのさかなは、とてもきれいないろあいでした。あおと、みどりと、むらさきと、ぎんのうろこがとても、きれいでした。おうちでかっているきんぎよもそんなきれいな、きんぎよだったらいいのになとおもいました。にじいろのさかなは、なみのさかなじゃない。うみじゅうさがしてもいいほど、きれいでした。

**【奨励賞】**

大野小学校 井上 汐空 (いのうえ きよら) さん

「にじいろのさかな」をよんで

いのうえ きよら

にじゅうおは、きらきらかがやくぎんのうろこがあるすごくきれいなさかなです。

ちいさいあおいさかなに、ぎんのうろこをいちまいほしいといわれて、あげなかったから、そのうちにともだちがいなくなって、ひとりぼっちになってしまいます。

たこのおばあさんに、きらきらうろこを、いちまいずつわたしなさいといわれて、にじゅうおはちいさいあおいさかなにぎんのうろこを、あげました。じぶんのだいじなためにもものをあげるのはいやだったとおもうけど、ぎんのうろこをあげたちいさいあおいさかながよろこんでるのをみたとき、にじゅうおはうれしかったとおもう。だから、ほかのさかなにもあげてさいごには、たったいちまいになってしまったけど、ともだちがたくさんできたにじゅうおはしあわせそうでした。